

# 千電協会報



2008.1 第34号

社団  
法人 千葉県電業協会



## 目次

### ご挨拶

千葉県知事	長	並木 鷹 男	.....3
県土整備部長	堂本 暁 子	古川 巖 水	.....5
技術管理課設備検査室長	田中 俊 雄		.....7
			.....9

### 随筆

「心と仕事を見直してみる」	橋本 邦彦	(株)春日電設	... 11
「徒然に思うこと」	西鳥 羽孝	環境テクノス(株)	... 13
「インフルエンザ対策について」	小峯 健一	小峯電業(株)	... 15

### 行事

第44回通常総会	..... 17
「三県連絡会議(秋季)」の開催	..... 19
地区オーナー懇話会	..... 22
第18回安全衛生大会	..... 26
「安全パトロール」実施報告	..... 29

### 協会活動報告

千葉県建設雇用改善推進大会		
建設業に働く若者からのメッセージ	..... 31	
「建設業に働く一員として」	篠崎 香	..... 33
「お客様と『対話』を通じて得られたもの」	筒井 知明	..... 35
「建設業界に飛び込んで」	岡本 弘樹	..... 37
「スタートライン」	江澤 文樹	..... 39
県土整備部・建産連意見交換会	..... 41	

### 委員会活動

総務・経営委員会	..... 43
技術・渉外委員会	..... 45
防災・安全委員会	..... 48

ゴルフ同好会&新風塾OBからのお知らせ	..... 50
会員消息	..... 51
会務報告	..... 55
協会役員	..... 61
編集後記	..... 62

# 年頭のごあいさつ



会 長

並 木 鷹 男



新年明けましておめでとうございます。

ご健勝にて輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。日頃から、関係機関、諸団体並びに会員の皆様方には格別のご高配とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の国内経済は、活況を呈するアジア経済に牽引され、外需関連企業を中心に景気の拡大が続き、個人消費も堅調に推移しました。建築着工数も増加し、設備投資意欲も向上して漸く我々中小企業にも景気の恩恵が、と楽しみにしていた矢先、サブプライムローンの焦げ付き問題に端を発した米国経済の減速と、改正建築基準法の施行による審査の長期化や申請の遅延による建築着工の大幅減少など、後半の建設投資に大きく影響を及ぼしました。ただし、要因は制度変更に伴う手続き上の問題であり、建設投資の意欲が衰えているわけではないので、本年は滞っていた分の反動増も見込め、縮小が続く公共投資を除けば、個人消費、設備投資と言った内需関連に大きな期待をしたいところでございます。

折角持ち直してきた景気の恩恵を、我々業界も同様に享受するためには、市場の変化に対応して自らを変革し、馬鹿げた過当競争、不当なダンピング受注を直ちに是正し、優良な建築生産品を後世に残すという本来の立ち位置に戻るべきではないでしょうか？私達は、県民、消費者の立場に立ち、正当な競争からコストを低減するのは勿論の事ながら、企業としての適正利潤を追求し、その原資の中から未来を背負って立つ優秀な若手技術者を育てていかなければ、この業界に未来は来ないし、施工品質の悪化や工期の遅延など、広く県土の基盤整備に支障を来たす事も憂慮されております。

このような環境のなか、本協会は業界全体のレベルアップを図りつつ、事業の運営に関しましても抜本的な改革を推進し『技術と経営に優れ、社会から必要とされる協会』を目指して本年も邁進致します。

「災害応急支援体制の強化推進」に関しましては、県並びに県水道局と締結した災害応急・復旧に関する協定、及び神奈川・埼玉両県電業協会との相互応援協定に基づき、災害時の支援体制の充実強化を図り、協会組織として万全の態勢で社会に貢献して参ります。

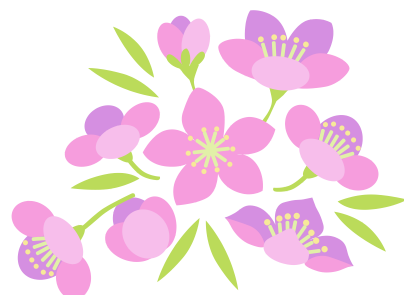
又、発注量が激減する中、県内企業育成の見地から千葉県が発注する下水道プラント工事等に関しましても大手プラントメーカーとのJV発注を、今後も関係諸機関に粘り強く要請して参ります。

各種の経営講習会・技術講習会の開催、後継者育成事業の推進など「会員企業の経営基盤の確立」に関しましても重点的に取り組み、「公共工事の品質確保に関する法律」への対応など「新分野・新技術への挑戦」を更に推進致します。

建設業界は大きな転機を迎え、未だ明確な未来像を描けない今日、『本協会の存在価値』について会員の皆様から多くのご意見をお聞かせ頂きました。又、三県連絡会議でも各県の現状と将来像について相互に研究する機会も設けました。特に本年は、未来を託す若手二世経営者の皆様のお力をお借りし、これからの本協会のあり方を模索、未来へのVision創りを推進致したく存じます。

業界を取巻く社会環境は必ずしも順風ではありませんが、業界の発展と地域社会への貢献のために、本年も協会の総力を挙げ、尚、一層の努力を傾注いたす所存でございます。何卒、関係機関の益々のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

末筆ながら、本年も皆様方の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



# 年頭のごあいさつ



千葉県知事

堂本 暁子



あけましておめでとうございます。

協会の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

今年は十二支の最初に数えられる「子」の年です。「子孫繁栄」の意味があり、少子化の時代には喜んで迎えられる干支に違いありません。子どもだけではなく、千葉県の経済の繁栄、文化の隆盛も期待したいところです。なにより、県民の一人おひとりが、豊かさを実感できる「子年」になるよう年の始めに当たり、心から願っております。

千葉県は、昨年の「ちばデスティネーションキャンペーン」で、地域のさまざまな団体、企業、NPO、市町村とともに考え、ともに取り組むことで、大きな成果をあげることができました。

今年は「早春ちばめぐり 房総発見伝春」が元旦からのスタートです。今回は「初詣めぐり」「早春の花めぐり」など8つの「めぐり」を用意し、県内外からのお客様に、広く県内をめぐっていただけるよう趣向を凝らしました。

地球温暖化問題は、いまや人類にとっての最重要課題です。県では、地球温暖化防止と生物多様性の保全に一体的に取り組むため、新しい「環境基本計画」と「(仮称)生物多様性ちば県戦略」を策定し、県政すべてに環境の視点を取り入れて、環境問題に対する千葉からの取り組みを広く県内外に発信していきます。

このほか、全国屈指の農林水産県として農業産出額第2位を奪還し、力強い「農業王国ちば」を確立するための販売と生産の両輪の一体的な推進や、本県経済の更なる発展を図るための中小企業支援や人材育成・確保、本県経済のリード役となる産業の強化・集積などを進めます。

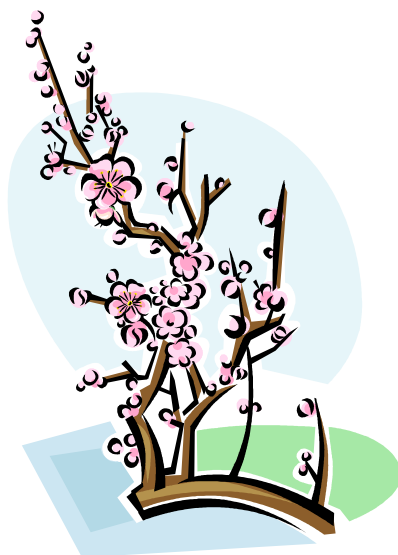
さらに、全国で初めて健康・医療・福祉の分野を連動させ、一体的に取り組むことで「健康県ちば」の実現を目指すほか、災害や犯罪などに対する安全・安心の確保にも努めてまいります。

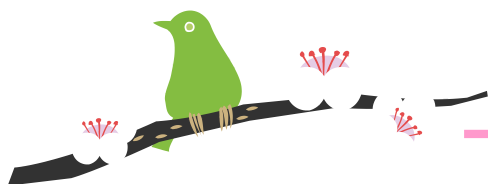
今年は、県の中長期の基本方針「あすのちばを拓く10のちから」で掲げた、平成20年までの目標を実現する締めくくりの年です。選択と集中を図り、県民と行政の協働を一層推進して、ふるさと千葉の未来を切り拓いていきます。

そして、真に県民が県政の主役となる21世紀型の地域社会の実現を600万県民の皆様とともに目指していきたく思います。

会員の皆様には、県民の安全で快適な生活と県内の産業基盤を支える電気工事の専門家としての立場から、本県事業の推進に御協力いただきますようお願いいたします。

結びに、協会の今後ますますの御発展と、会員の皆様の御活躍をお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。





# 年頭のごあいさつ

「誰もが安心して暮らせる県土づくり」

県土整備部長

古川 巖水



新年あけましておめでとうございます。

協会の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお祝い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、県土基盤整備の進展を示す、明るい話題がいくつか見受けられました。

一つは、県内の高速道路ネットワーク化が大きく一步踏み出したことです。

昨年3月に、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の木更津ジャンクションから木更津東インターチェンジ間7.1キロメートルが県内で初めて開通しました。

7月には、館山自動車道が全線開通し観光客が増え、南房総は活気づいています。

また、成田国際空港のアクセス強化を図る北千葉道路の印旛成田間の全線が昨年事業化され、平成20年代半ばの供用に向けて整備を進めています。

さらに、つくばエクスプレスも開業から2年経過し、沿線では、地域の特性を活かした、産学官が連携したまちづくりが進められています。

ここで、今年進展が見込まれる事業と、今後の県土基盤整備の基本的な考え方について申し上げます。

まず、この春に、東京外かく環状道路（外環）の一般部（国道部やサービス道路等）の一部が開通します。また、銚子連絡道路は、地元協力を得ながら今年事業着手する予定です。

さらに、市川三番瀬・塩浜地区において、安全かつ生態系に配慮した護岸改修を進めています。この他にも治水安全度を高める河川の整備、物流機能を強化する港湾の整備などの基盤整備や、つくばエクスプレス沿線整備や景観まちづくり

など個性ある地域づくりに取り組んでまいります。

今、時代は大きな転換期を迎えています。社会経済情勢の変化に適確に対応するため、高齢者、障害者、子ども、女性など誰もが安心して快適に暮らせる県土づくりが強く求められております。

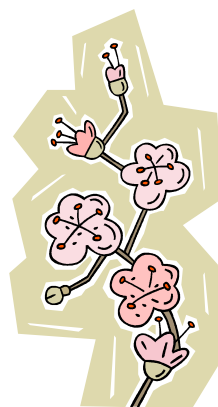
このため、災害に強いまちづくりを進めるとともに、自然環境の保全と再生に十分配慮した河川・海岸の整備や土砂災害対策など自然災害の防止に取り組んでまいります。

また、持続可能でコンパクトなまちづくりの支援を行うとともに、道路・建築物のユニバーサルデザインを推進し、併せて豊かな環境と美しい景観を保全・創造し、生物多様性の視点を踏まえるなど、時代の転換期に相応しい県土づくりを進めます。

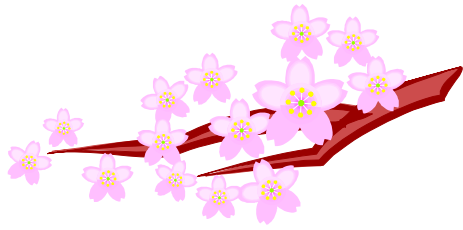
建設業界を取り巻く環境には大変に厳しいものがあります。しかしながら、皆様が担っておられる電気工事業は、基幹産業である建設業の一翼を担い、県民生活の向上や産業の発展に不可欠な業種として、重要な役割を期待されております。

皆様におかれましては、引き続き会員相互の連携を通じて、技術力・経営力の向上に努められ、県土整備の推進につきましても、なお、一層の御尽力を賜りますようお願いいたします。

年頭にあたり今年1年が、災害のない平穏な年となることを、そして会員の皆様にとって、健康で幸多き年となることを祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。







# 年頭のごあいさつ

「設備検査業務について」

技術管理課設備検査室長

田 中 俊 雄



新年あけまして、おめでとうございます。

社団法人千葉県電業協会の会員の皆様方には、平素より県発注工事の検査業務に関しまして多大なご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

私たち技術管理課・設備検査室の職員が会員の皆様と接する機会は、工事における完成及び中間・出来形検査のみですが、当課の業務内容は検査業務を含め、建設技術に関する調査及び指導に関すること、工事及び委託設計業務等の検査及び指導に関すること、設計積算及び積算基準に関すること、建設工事仕様書の調整及び建設工事の技術基準等の調整に関すること、工事の安全対策に関すること等があります。その中でも設備検査室は、知事部局、水道局、病院局、企業庁及び教育委員会並びに警察本部発注に関する設備工事・委託設計業務等の検査が業務内容となっております。

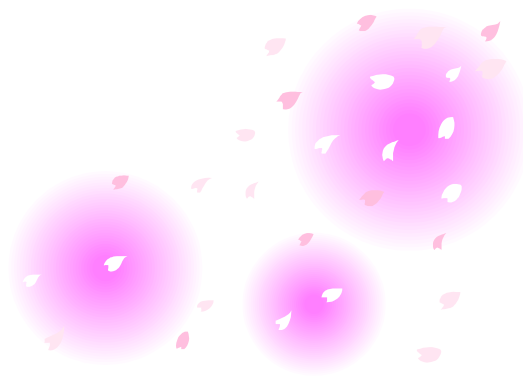
検査対象が多岐にわたることにより、設備の中でも建築設備の経験しかない私にとっては、戸惑いも沢山あります。特に水道局の浄水場、下水道事務所の汚水処理場等のプラント工事では、高価な材料と大きさに、農林振興センター、港湾事務所の排水機場では、排水ポンプ、除塵機及び制御版の大きさに驚かされました。

下水道終末処理場における出来形検査があり、稼働前の処理場を見ることが出来ました。稼働中の処理場は汚水の攪拌とバッキのための気泡が水面を漂っている風景を想像しておりましたが、槽内に設置された攪拌機の大きさと、取り付けられた器具の多さと巧妙さ、また、バッキのための送気装置の精密なこと、そして防錆のため銅版を使用した越流堰、長大な汚泥掻き揚げ装置など見識を深める

ことができました。

千葉県では入札に関し平成 19 年度「総合評価方式」を実施しております。価格と品質で総合的に優れた公共工事を実施する手法として、この方式を適用することにより、公共工事の施工に必要な技術的能力を有する者が施工することになり、品質の確保、工事目的物の性能・機能の向上、長寿命化、維持修繕費の縮減等が図られることにより、現在かつ将来の県民に利益がもたらされると期待されております。この「総合評価方式」には、特別簡易型、簡易型、標準型、高度技術提案型があり、工事の特性に応じて選択されることとなっております。会員の皆様には「総合評価方式」を早期にご理解いただき、入札に際し遺漏のないようお願いをいたします。

最後に、千葉県電業協会の更なる発展と会員の皆様のご発展を祈念申し上げると共に、県行政へのよりいっそうのご支援をお願い申し上げます。



# 心と仕事を見直してみる

(株)春日電設

橋本邦彦



今の仕事にやりがいを感じないので、働くのが嫌になりやる気が起きてこないから、会社をいつ辞めようかということばかり考えてしまう。このように感じている人は、なぜ今の仕事にやりがいを見出せないのか、自身を問い正して見てはどうでしょうか。いろいろな理由があるでしょう。人間関係・仕事の内容・体力の問題など、そして、毎日同じ仕事の繰り返しで飽きてしまった。どれだけ業績を上げてても会社が正当に評価してくれないし、雑用や単純な仕事ばかりでやりがいを感じないと思いながら、そして、また翌日はこれまでと同じように仕事をこなす、これが働く普通の姿ではないでしょうか。

会社は効率よく稼働しなければなりませんので、営業なら営業、現場担当なら現場と同じ仕事の繰り返しでマンネリ化してると思います。

毎日が繰り返しで面白くないという人は、勤続何十年のベテランよりまだ数年間しか働いていない人が早く飽きてしまうことが見受けられます。

先輩から現場で仕事のやり方や材料の手配等の手順を教えられる。当初は仕事を早く覚えようと懸命になる。仕事が新鮮であり、毎日が希望に満ちている。ところが自分一人でこなせるようになると、覚えてしまえば誰がやっても同じと、仕事に対して甘えが生じて新鮮味が薄れて来ると飽きを感じてしまう。手順だけを追うと単純に見える仕事でも、ベテラン社員は、職人の技量によって結果が変わることを知っている。

また、単純な作業でも気を抜くと大失敗につながることも経験上分かっているから、集中力がとぎれない。ベテラン社員と新人とでは、同じ仕事をしていても集中して考えていること、注意していることが異なる。仕事の奥深い部分が見えていない新人社員ほど、こんな仕事はつまらない、誰がやっても同じという人が多い。

職人といわれる人は、一人前になるまで費やした修行の時間や過酷さを考えると、決して高い収入を得ているわけではない。それでも自分の仕事に飽きるどころか、仕事が生きがいという人が多い。自分よりいい仕事ができる人は、そうはいないと仕事にプライドをもっているから飽きを感じないだろうと思います。飽きを感じてしまった人は、職人氣質を見習ってもう一度見直してみたらどうだろうか。

いくら残業をしても仕事の時間は限られているのに、やらなければいけない仕事になかなか減らない。朝出社したらまた新たな仕事が入るといふ人、そんな毎日を過ごしていると疲れてしまう。日々の仕事でいっぱいだと、飛び入りの仕事に対応する事ができない。そんな人は自分のやっている仕事を一度見直しましょう。今やっている仕事は本当に必要な仕事かどうか、意味のない無駄な仕事をしていないかどうか。無駄かもしれないけど、将来何かにつながる可能性あるとか、やることでお客様に繋がる価値があるといった仕事は無駄とは思わないが、その他の無駄なことは全てやめてしまう。効率よく仕事をこなすことが一番だと思います。

依頼された仕事をすべて受けるのではなく、自分で出来ない仕事は上手に断る事も必要だと思います。断れない理由は断ると次から仕事がなくなるのが怖いと思うからです。受けてお客様に期待どおりの対応ができず悪い印象だけが残るだけで、もう声が掛からない状況になってしまいますので、上手にお断りをするのも仕事だろうと思います。

一時間早く出社してみると、集中できる環境があり、誰もいない事務所で仕事すると集中して仕事に掛かれます。溜まっているメールやFAXの処理も大事ですが、この時間に仕上げてしまおうと言う仕事だけ集中して一気に片付けることが大事だと思います。そうしないと次の仕事に取り掛かれないし、仕事が進まないと思います。

又、仕事をしようという時に、必要な書類が出てこないで集中力がとぎれてしまうことがあります。あの書類はどこにあるのか、仕事する前に書類を捜すのが仕事になってしまいます。人によっては机の上に書類が溜まって何ヶ月も経っていることがあります。その中へ紛れてしまうと探すことが大変です。整理して用済みの書類は、思い切って捨ててしまうことです。大事な書類はファイルしてすぐ判別できるように置いておく事が、仕事を早く片付ける事になると思います。

仕事は会社のためにやるのではなく、自分のためにやるものだろうと思います。

# 徒然に思うこと

環境テクノス(株)

西鳥羽 隆



寄稿の依頼に対して自慢する特技も趣味もない私においては、題材に大変苦慮いたしまして、日々徒然に思うことを書くことにしました。

公私共に事象は異なるにしても、変化のない安堵の日常を送るのが凡人の生活かと思えます。そして、いざ特殊な対応が必要な場合、経験や他の意見を取り入れて、物事にあたり、何とか解決しようと思慮するものです。このような繰り返しが経験やノウハウとして蓄積され、各々の生き抜く知恵となり、変化に順応して今があるのだと思えます。

しかしながら、今日の世情は従来、常識的な行為が非常識と受け取られ、その逆もあり、困惑することが多々あります。地域社会に関わろうとするとこのような事があり、田舎育ちの身の上からして迷惑がられ、「余計なお世話！」と一喝され、段々のご近所意識が薄れてきます。賢者はこのような状況を避け、結果を想定して行動するのですが、私も含め迷い人はその場になって試行錯誤の末、大半はよい結果を得られないものです。この状態が続けば、孤立し、自然界であれば大方の生物は死滅してしまいます。個々人が認識を改め、地域社会の絶滅危惧人にならないように心掛けたいものです。

このような認識をあらたにしたのは千葉県電業協会の防災・安全委員としてH19年度事務局のご指導の中、微力ながら活動に参加させて頂き、前述の自治会レベ

ルの関係ではなく、千葉県主導の防災組織に助力する活動を通じての経験です。当然、自然災害に対して国及び地方自治体が住民の安全を確保する対策・組織を確立する責務があり、協会もその一翼を担っている訳ですが、家庭内さらにはご近所との相互協力なくして災害時に円滑な対応ができないと思われます。

昨今、防災のほか防犯意識も望まれます。強行犯罪が新聞・テレビで連日のように流れ、極々近隣で発生しています。世の中が悪い、政治が悪いと酒席で愚痴るのが常ですが、これもやはり孤立した地域社会が生み出した状況が一因と思います。身近に住まいする住宅団地に自治会があり、役員さんが防災訓練・火災予防（防犯）巡回等参加の案内を熱心にされていますが、これを機会に積極的に参加しようと思います。

会社に勤め、近所づきあいを家人に任せきりになると緊急時に支障をきたし、強いては定年で周りを見渡すと人間関係が分からず、孤立、寂しい老後となる、と先日町内一斉清掃で近づきになった自治会の役員から話を聞き、まったく、そのとおり、そのままの生活をしつつあることに気づきました。

会社人として人との関わりが一番大切と肝に命じて生きてきたのに何と生活の基盤の地域社会との付き合いが薄かったことを反省する今日この頃です。



# インフルエンザ対策について

小峯電業(株)

小 峯 健 一



毎年冬になると大流行するインフルエンザ。そのウィルスは突然姿を変えることがあり、対策はやっかいです。

先日エッセイのご依頼を受けまして何を書こうかテーマがなかなか決まりませんでした。私事を書くよりも多くの人の興味がありそうな題材の『インフルエンザ』について書くことにしました。

『インフルエンザ』は昔、『星の影響』によりなる病気とされ、500年前のイタリアで大流行した際にイタリア語で『影響』を意味する『インフルエンツァ』という言葉が使われ、その後イギリスではやった際に英語風に『インフルエンザ』と発音されてこの名前にな

なったそうです。

インフルエンザの種類は大きくは2つに分けられ、世界中に広がりやすいA型と、あまり広がらないB型があり、細かく分けると日本で発見されただけでも9000種類もあるそうです。

インフルエンザのウィルスは1万分の1という肉眼では見えない非常に小さなもので、空気中を漂っていて、鼻や喉から体内に入ります。ウィルスの廻りにはギザギザの突起がついていて、体内に侵入すると、このギザギザで喉にとりつきます。そして粘膜の細胞に入り込み、細胞の中で自分の仲間を増やし、細胞を壊して別の細胞へと移っていきます。　そういうウィルスの活動に対し、私達の体

がインフルエンザにかかって咳をするのは、喉にとりついたウィルスを外に出そうとする働きで、鼻水がでてくるのは、鼻の粘膜を守りながらウィルスを外にだしてしまおうという働きです。それでもこれだけではウィルスをやっつけることはできませんので、体は体温を39度程度まで高くします。ウィルスは熱に弱く、39度程度で力を失ってしまうからです。

インフルエンザの予防にはワクチンの接種が有効とされており、毎年2月にアメリカ・オーストラリア・イギリス・日本の4カ国の専門家がスイスに集まって6日間かけて次にどんなウィルスが流行るかを予想して、それに基づきワクチンが作られます。

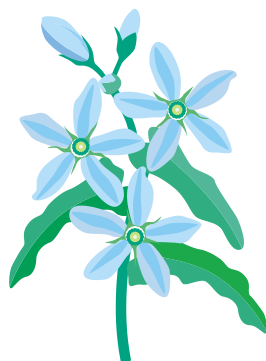
ワクチンを接種すると体がウィルスの突起の形を覚えてこの突起が細胞にささらないようにカバーを作り出します。このカバーが抗体です。しかし予想したウィルスの形でなければワクチンは効かず、また普通の風邪には効果がありません。

それではワクチン以外の予防対策としてはどうしたらいいのでしょうか？

まずインフルエンザウィルスは寒くて乾燥した所を好みますから、室内を暖かくして加湿することです。そしてウィルスの周りの突起は脂肪でできているので、外出して帰った際には石鹸で手を洗って脂肪を洗い流してしまえば手を介しての体内への侵入は予防できます。そして栄養と睡眠を十分とることも重要です。

またもしかかってしまったら、マスクを着用すると咳によるウィルスの撒き散らしを防ぐだけでなく、喉を湿らせ暖かくできるので効果的です。他人にうつさない配慮が実は自分のインフルエンザ対策にもなるのです。

予防は副作用のない一番の治療です。日々の生活の中での注意をしましょう。





# 第44回通常総会



## 通常総会

平成19年2月14日(水)14時30分からオークラ千葉ホテルにおいて第44回通常総会が開催されました。

平成18年度事業報告・収支決算報告、平成19年度事業計画案・収支予算案、組織改正案並びに会費改定案など原案通り可決承認されました。

任期満了に伴う役員改選では、並木会長、富田副会長が再選。會田副会長は勇退し後任に輪湖副会長、渋谷副会長が就任しました。

以上をもって議事の全てを終了し、議長は議事進行への協力に謝辞を述べて降壇し、総会を閉会しました。

議事終了後の懇親会では、主催者挨拶の後、堂本暁子千葉県知事が祝辞を述べ、県及び関係団体等多数の来賓とともに和やかな雰囲気のうち18時散会しました。

懇親会挨拶

並木会長

堂本知事



## 新役員紹介

第44回通常総会において役員改選が行われ、新役員が承認されました。

役職名	氏名	会社名	
会長	並木 鷹 男	城南電設企業(株)	代表取締役
副会長	富田 武	富田電機工業(株)	〃
	輪 湖 葆 子	アツサ電気工業(株)	〃
	渋谷 吏 朗	(株)三矢電設	〃
理事	黒木 道 寛	(株)小磯電気工業	〃
	五十嵐 治 美	友信電気(株)	〃
	濱 名 敏 功	二チデン工業(株)	〃
	大嶋 敏 樹	(有)大嶋電機工業	〃
	神 定 一 雄	総武電気工業(株)	〃
	鈴木 利 雄	(株)鈴木電気	〃
常務理事	山 内 伊与治	(社)千葉県電業協会	事務局 長
監 事	増 田 健	(株)増田電気工業所	代表取締役
	渡 辺 勝	渡辺電機水道(株)	〃
	御園生 隆	御園生経営労務管理事務所	所 長
顧 問	宮 内 三 朗		
	関 泰 雄	モデン工業(株)	代表取締役
	喜多村 賢一郎	千葉電気工事(株)	〃

# 「三県連絡会議(秋季)」の開催

日時：平成19年11月7日(水)15時～  
場所：オークラ千葉ホテル2階「コスモス」



(左から 荻野副会長 佐野会長 並木会長 内藤会長 十八日副会長)

## 出席者

埼玉県電業協会：佐野会長、荻野副会長、島村副会長、岡村副会長、  
荒川事務局次長

神奈川県電業協会：内藤会長、十八日副会長、山口副会長、大竹常務理事

千葉県電業協会：並木会長、富田副会長、輪湖副会長、黒木理事、  
五十嵐理事、山内事務局次長

## 挨拶

開催県：並木会長(千葉県電業協会)

次回開催県：佐野会長(埼玉県電業協会)

## 議 事

### 議題 ; 「これからの協会のあり方について」

従来ややもすると、議題が多いため焦点が定まらず1つの方向性が出にくい会議であったが、今回はこの議題1本に絞り、各県からは事前にアイデアを出してもらう形で更に2時間に亘る討議を重ねた結果、議論の内容については次の要旨案に集約される。

#### (要旨案)

##### 1. 「人づくり・人材の確保」

- ・ 高校電気科への応募者増加支援及び就職先の確保  
(小学高学年から中学生を対象にした電気に関するPR活動及び会員企業への就職勧誘活動等を行なう。)
- ・ 若手技術者の労働条件の向上・現場環境の整備等を推進し、電設技術者の魅力をアピール  
(高度技術の習得による就労意欲等の向上を図り、若者(20代前半)を対象にした電設業の魅力をアピールする。)
- ・ 女性技術者、団塊の世代・高齢技術者等の活用  
(女性や高齢者などが働ける労働環境の整備を推進する。)

##### 2. 「官庁との関わり」

- ・ 入札契約制度の改変、公益法人改革等により新たな関係が必要。  
(透明性公平性から一般競争入札にシフト、かつ電子入札になってきている。また県の窓口も公益法人法改正から業界関係課から離れる方向と思われる。役所からの相談要請を受けるような立場に変えていく。)
- ・ 業界の地位向上を目指し、官依存体質からの脱却を図る。  
(不当なダンピングをやめ、民間や他分野(異業種)の受注を進める。)
- ・ 分離発注や条件付発注を要請していく。  
(条件として基幹技能者、ISO、災害業務締結、地域貢献活動など)

### 3. 「協会の存在意義」

- ・ 会員は客観的に電設技術・技能のステータスを持つ。  
（講習会、研修会等を通して高度な電設技術・知識を習得、客観的な評価を得ている。）
- ・ 会員にはメリットがある。  
（経審点数・県登録主観点数の加算、電設情報の優先取得、官庁への意見要望具申など1企業ではできない利点がある。）
- ・ 県内電設業者の技術力向上の牽引役となるべき。  
（会員の技術レベル向上から、社会的には県内電設業の地位向上に貢献する。）
- ・ 地域社会への企業集団としての貢献活動  
（災害応急活動や協会（電気技術）が地域貢献のできる事業を実施する。）
- ・ 会員の親睦・情報交換・癒しの場となるべき。  
（親睦会、祭り、ゴルフ、釣りなどのレクリエーションやイベントを通して会員相互の懇親・意思疎通を図る。）

### 4. 「大企業と地元企業の棲み分け」

- ・ 電設協の役員と三県電業協会会長との会談の場を通して要望していく。

この要旨案については、次回の三県連絡会議（埼玉県）において更に固めていくこととなった。



三県連絡会議

# 平成19年度 地区オーナー懇話会

平成19年10月16日～22日

平成19年度の地区オーナー懇話会が、下記によりそれぞれの地区で開催されました。

協会役員から議題についての説明があり、それぞれの地区では出席したオーナー諸氏から様々なご意見ご要望などが出され、活発な意見交換が行なわれました。

## 1 議 題

- (1) 協会活動の現況報告と全般事業について
- (2) 各種アンケート結果の報告について
- (3) 年会費の口座自動振替について
- (4) これからの協会のあり方について
- (5) その他

## 2 主な意見・提案などの概要

年会費の口座自動振替について

- ・口座自動振替については賛成のご意見が多かった。
- ・口座自動振替であれば、経費削減などから年2回(上期、下期)したらどうか。
- ・会員にメリット・デメリットを示し、口座振替の方向性を訴えるべき。
- ・インターネットバンキングも検討してはどうか。
- ・方向が決まれば総会などで報告してはどうか

これからの協会のあり方について

- ・人材育成や人材確保に関する事
- ・顧問（司法書士など）に関する事
- ・講習会や資格制度に関する事
- ・分離発注や優先指名に関する事
- ・最低制限価格の公表に関する事
- ・会員の親睦やレクリエーションなどに関する事
- ・協会の収益増に関する事
- ・会員の結束に関する事
- ・経営支援や異業種進出などに関する事



平成 19 年 10 月 16 日 東総地区



平成 19 年 10 月 17 日 南総地区



平成 19 年 10 月 18 日 葛南地区





平成 19 年 10 月 19 日 東葛地区



平成 19 年 10 月 22 日 千葉地区

# 第18回 安全衛生大会

防災・安全委員会

日時：平成19年11月20日(火)13時～

場所：オークラ千葉ホテル3階「ウインザー」

平成19年11月20日(火)13時から、第18回安全衛生大会がオークラ千葉ホテル3階「ウインザー」にて、会員ほか72名の参加のもとに開催されました。

始めに挨拶をされた並木会長からは「収益がでないからと言って安全について、疎かにしてはならないことがこの安全衛生大会の大きな趣旨です。また、団塊の世代でベテランと言われた意識の高い方々が、退職で業界から去っていくことで、安全意識が後継者に継承されていくのか確認も大事なことです。

安全は全てに優先しますが、ビジネスが先になったり、忙しさにかまけて(安全についての)趣旨が疎かにならないよう確認していくことです。

経営者にとっては、現場で働く方々の安全と衛生、健康管理が最も重要と認識していますが、経営トップの皆様方がリーダーシップを取っていただき、安全について今一度ご確認いただきたい。協会の自主的な事業として、防災・安全委員会により工事現場の安全パトロールを励行し、災害防止に対する注意喚起、安全意識の向上などに努めておりますが、安全で快適な職場環境づくりを目指すとともに、技術力の強化も図り健全な発展と我々の業界の地位向上に努めていきたい。」との趣旨を述べられた。

続いて、来賓祝辞として千葉労働局長の代理で、労働基準部安全衛生課長の神田氏から「日頃から、私どもが取組んでいる労働基準行政、特に労働者の安全と健康の確保につきまして、深いご理解ご協力をいただき感謝しています。

また本日は貴重な時間を割き、このように盛大な安全大会が催されたことから敬意を表しますと共に、行政に携わる者としても大変心強く感じています。

今、行政課題で取組んでいる中の2点を申し上げますと、労働災害の防止は開局依頼の大命題でありますが、ここ数年健康管理の課題として、「過重労働による健康障害の防止」いわゆる「過労死」があります。従来、過労死は脳や心臓の疾患で労災補償の問題として社会的に大きく取り上げられてきましたが、最近は医学的知見の集約から、月間45時間を越える時間外や休日労働をする方々で、時間外労働が長くなるほど、それぞれの疾患発症との因果関係が証明されてきました。

これにより働く人の労働時間管理を厳格にすることにより、疾患の発症を未然に防ぐことができます。

これは労働災害の防止と似ており、労災は同じ事故を再発させない取組みが行われてきていますが、疾患は従来個人的な病気とされ、今まで再発防止を図るに至っていませんでした。皆様方には、これからの長時間労働の時間管理を厳格にするよう取組んでいただくことをお願いします。

二つ目は石綿（アスベスト）についての健康障害で、従来有害物に関しては特定の製造者や取扱者の問題と認識され、そのような方々に対する暴露防止等の対策をしてきましたが、この石綿については製造工場周辺住民の方々や従業員の家族に発症する事例が、40年前からイギリスなどで報告されていました。

石綿については普通の生活者でも暴露される危険性があり、建設物の中には大量に含まれています。今後これらの建設物が更新や解体などの時期きていることから、石綿による健康障害が労働者だけでなく一般住民などにも広がらないよう、関係者の注意喚起をして被害拡大の防止を図っていくこととしています。

いずれにしても、健康管理については安全管理の取組みと比較すると今一步遅れがちですが、安全と並び健康管理も重要な問題ですので、皆様方におかれましては安全管理と同様、健康管理の取組みを強めていただくようお願いいたします。」との趣旨を述べられた。

また、県の建設・不動産課長の代理で建設業・契約室長の宮内氏から「皆様方には、日頃から公共工事の適正、かつ円滑な施工を通じ本県の社会基盤の整備にご尽力をいただいていることに深く感謝します。建設業が健全に発展するためには、工事現場で働く人達が安心して働ける職場の確保が不可欠です。

しかしながら、厚生労働省の発表によると、平成18年度の労働災害による死亡者数では、建設業によるものとして全国で508名の尊い人命が失われており、全災害の中で死亡災害が最も多く発生しています。電気工事業では足場からの転落や感電など人命に係る事故の発生が懸念されており、安全管理の徹底が強く望まれるところです。

皆様におかれましては、本大会を機に一層の安全活動の推進に努められ、今後とも建設業の振興と発展に寄与されますようお願いいたします。」との趣旨の挨拶がありました。

このあと、大嶋防災・安全委員長から安全宣言として力強いスローガン「組織で進めるリスクの低減 今一度確認しよう安全職場」が読み上げられ、会場に参集した全員で唱和し、安全を誓いました。

続いて特別講演では、安全衛生課長の神田氏が「労働災害の防止について」と題され、概ね1時間に亘り講演されました。

「1.労働災害の現状と課題、2.近年の災害発生の特徴、3.労働災害の増加原因、4.個別の災害発生原因、5.建設業における災害発生の特徴、6.災害発生の防止に向けて」の6項目について、具体的な事例を交えながら説明され、大変有意義な内容でした。



安全大会 安全宣言 大嶋委員長



同日開催 技術講習会 濱名委員長挨拶

# 平成 19 年度 「安全パトロール」実施報告

日時：平成 19 年 10 月 24 日（水）13 時 30 分

場所：千葉県立千葉聾学校工事現場事務所

千葉県が発注し電業協会会員が受注している下記工事現場の安全パトロールを実施しました。

工事名：千葉県立千葉聾学校校舎（管理棟）改築電気設備工事

請負者：株式会社 尾高電工 代表取締役 尾高 功將

工期：平成 18 年 9 月 30 日～平成 20 年 2 月 29 日

建物概要：管理棟 RC 造地上 2 階 延べ面積 3010.64 m<sup>2</sup>

電気室 鉄骨造平屋 延べ面積 87.12 m<sup>2</sup>

## 1. 出席者

- ・千葉県；県土整備部営繕課主幹(兼)設備室長 大堀 幸則
  - 〃 設備室副主査 多田 宏一
  - 〃 主任技師 塚田 剛文
  - 〃 建築室副主幹 林 涉
- ・建築施工者；旭建設株式会社 工事事務所長 河野 博
- ・電気施工者；株式会社尾高電工 代表取締役 尾高 功將
  - 〃 現場代人 古川 秀則
- ・(社)千葉県電業協会防災・安全委員会 委員長 大嶋 敏樹
  - 〃 〃 副委員長 鈴木 利雄
  - 〃 〃 委員 西鳥羽 隆
  - 〃 〃 委員 小峯 健一
  - 〃 〃 委員 佐藤 寛
  - 〃 〃 委員 館道 和志
  - 〃 〃 委員 市東 春樹
  - 〃 〃 委員 椎名 教泰
  - 〃 事務局 事務局長 山内伊与治

## 2. 現場進捗状況

- ・管理棟は躯体が打ち上がり、1～2階とも内装工事が進められていました。1階は軽天が概ね終了しており、電気工事も通線・配管及びボックス取り付けが施工され、2階は軽天前の釣りボルト先行取り付けや通線準備、墨出し作業状況と言った状況でした。電気室は折板屋根が未工事の状態でした。出来高は13%でほぼ予定通りの進捗とのことです。

## 3. 講評

- ・大嶋委員長から、整理整頓が行き届いており、かつ現場内の安全に充分配慮している状況で特に指摘するものは無く良好でした。本日確認できなかったことについては安全に注意して実施していただきたい旨講評がありました。



事前ミーティング



パトロール状況

# 平成 19 年度 千葉県建設雇用改善推進大会

日時：平成 19 年 11 月 8 日（木）13 時 30 分～  
場所：オークラ千葉ホテル エリーゼ

## 1 主 催 者

- ・ 千葉県
- ・ 千葉労働局
- ・ (独)雇用・能力開発機構千葉センター
- ・ (社)千葉県建設業協会  
千葉県建設産業団体連合会 協賛

## 2 式 典（第 1 部）

開会にあたり、まず主催者として千葉県知事の代理代読として商工労働部次長の戸谷久子氏、千葉労働局長の本間文佳氏、千葉県建設業協会会長の郡司正幹氏からそれぞれ挨拶がありました。

次に、来賓挨拶として千葉県議会副議長の成尾政美氏が祝辞を述べました。

その後は、式次第に沿って表彰式が行なわれ、知事表彰 2 社、労働局長から記念品贈呈が 1 社、各団体長からの感謝状贈呈が 8 社ありました。

このうち電業協会の会員ではモデン工業(株)が、建設雇用改善優良事業所ということで電業協会会長の感謝状表彰を受けました。

また、「若者からのメッセージ」入選作品の紹介や応募者への記念品贈呈などが行なわれましたが、電業協会の会員としては、優良作品に対する(独)雇用・能力開発機構千葉センター表彰として、モデン工業(株)の篠崎香さんと城南電設企業(株)の筒井知明君の 2 名が千葉センター統括所長から表彰状が手渡されました。

その後、入選作品の朗読紹介があり表彰式を終了しました。

### 3 講演会（第2部）

次に、第2部として講演会が行なわれ、「上手な医者のかかり方」と題して、

前山梨医科大学助教授で、現在「山野美容芸術短期大学教授」の“中野英臣氏”が講演しました。正しい健康についての情報を手に入れることが大事としたうえで、医療についての裏話や常識の変化、根拠のない健康食品、野菜不足や運動不足から来る肥満やガンの増加、健康診断の正常値の疑問、薬処方の無期限化、医療費の増加は医者増加、なにもせず儲かる医者など医療全般に亘る話題を医療現場に携わった者として大変コミカルなトークで話され、最後に「世界一の日本の健康寿命（男71歳女76歳）と平均寿命（男79歳女86歳）との間で、男8年、女10年の痴呆やオシメのお世話になる現実があります。正しい生活慣習に切替え1年でも健康寿命を延ばすことが、21世紀最大の健康テーマ。しかし、不幸なことに皆さんは病気と戦う前に医者と戦わなければなりません。これが私の最後のメッセージです。」と話され、講演を締め括りました。





## 建設業に働く一員として

モデン工業(株)

篠崎 香



私が建設業に就職した動機は、今までずっと住んでいる地域や街に少しでも貢献することが出来たらいいなと思ったからです。そう思ったきっかけは、就職する前の建設業の印象にありました。

私の建設業に対する印象は、普段の生活に欠かせない「建物」を作り出していく、生活における「縁の下の力持ち」という感じでした。生活する上でなくてはならない、そして、普段の生活には欠かせない物を創り出す職業だからこそ、私にも何か出来ることはないかと思ったのです。

歳を重ね、行動範囲が広がるにつれて、外に目を向ける機会が増え、改めて身の回りに目を向けるようになりました。すると、今まで特に気にしていなかったいろいろな建物を目にするようになりました。建物が建っていく過程は、ほとんどの人が特に気にすることもなく目もくれないものですが、私はその過程の中に素晴らしいものが詰まっていると思います。

また建築や電気、土木建造物、街づくりはそこに住まう人々に便利さを与えるだけではなく、生活をする上での楽しさや喜びを与えているのではないかと思います。現代人の望むものは、生活の便利さがあって楽しい生活なのだと思います。「建設業」はその想いに応え、街を、環境を、そして人々の新しい生活を想像しているのだと思います。

今も昔も「建築」は人の暮らしに密接しています。たとえ時間を経て、形や色が変わったとしても、歳月は建築を熟成させ、人々の暮らしを支えていくでしょう。そして、「建築」の存在は様々な感動や癒しを与えてくれます。現存している建物は、それを作り上げた人達が環境を、暮らしを大切に思っていたからこそ、今まで大切にされてきたのかもしれない。

建設業とは、多くの人々の生活に笑顔を提供する仕事と言っても、過言ではないと思います。自分のつくった構造物が人々の生活に豊かさをもたらすことができるのは、とても素晴らしいことだと思います。建ってしまえば当たり前のように存在し、そして、当たり前のように人が毎日利用する「建物」。しかし、建物が完成するまでには、たくさんの人々のどれほどの苦勞を擁するのか計り知れません。夏の炎天下、真冬の極寒といった厳しい状況での作業。しかし、こういった状況でも建物は建てなければなりません。苦勞の絶えない建設業ですが、その苦勞を越える魅力がこの業界にはあると思います。

建設業はスケールの大きい仕事で、その分、他の仕事よりも達成感、満足感も大きく、多額の金銭が流通する業界でもあります。「建設業」が社会に与える影響は大きく、それだけに責任は大きいと思います。そして何より、人の命を預かっているといっても過言ではないのだから、仕事に対する責任は重大です。人が笑顔で幸せいっぱい暮らし家。しかし、その幸せをちょっとした気の緩みで恐怖に変えてしまう。「小さな気の緩みの影に潜んでいる大きな危険」そのことを忘れてはならないと思います。

一戸建て住宅を建てるとしても様々な工程を成し遂げ、建物は完成します。分野は違いますが、一戸建て住宅を建てるという一つの目標にいろいろな人が関係している。そして、各々の信頼感がなければ、よい建物は完成しません。このように、一人の力では何もできない、「みんなで協力し合って一つの大きなことを成し遂げる」。建設業の場合はこの「一つの大きな目標」が「建物」になります。それはどの分野においても、とても素晴らしい事だと思います。そのことが自分の思う中で建設業の一番の魅力だと思います。建物を建てるという事は自らの達成感、満足感のためでもあると思います。私も建設業に従事する者として建設業に貢献していくことができたらと思います。

電気は今の生活になくてならない、生活に欠かせないものとなっています。電気が開発されたことにより、様々な物や様々な事が便利に、そして楽にできるようになりました。私も電気のない生活など想像もできない程、「電気」は生活に密接しています。このような時代になったからこそ、利用者に喜んでもらえるように、その事を最優先に考える事が大切なのだと思います。

私はこれからこの建設業に関わる一人として、人の幸せを願いながら、そして、「ありがとう」という言葉のために仕事をしていきたいと思っています。

## お客様と「対話」を通じて得られたもの

城南電設企業(株)

筒井 知 明



城南電設に入社して一年と八ヶ月、今では毎月250社あまりの工場を訪問している。毎号発行される自社にて作成した情報誌を手渡しし、対話を通して要望や問題点を話し合いお客様を増やす活動を行っている。

地元の工業高校を卒業後、在学期間中にアルバイトしていたコンビニエンスストアのオーナーに気に入られそのまま社員として勤務することになった。それまでは極度の緊張症だった私にとってお客様と直に接するという事は自分の殻を破り“接客業”というノウハウを身につけ自信をつけさせることにより克服することができた。そしてそのうち“営業”とい

う職に憧れ、惹かれるようになり前職を後にし城南電設の営業マンになったのだ。とはいうものの高校を卒業してから約5年という月日が経過していたのもあり技術力はないに等しかった。建築設備に対しての知識も乏しく「本当にこの職に就いてうまくやっていけるだろうか」と不安な気持ちが多々あった。

入社して数ヶ月は上司同行のもと勉強をし、昨年9月に新たな期を迎えた。そこで新たに発足した“市場開発チーム”の一員になった私は県内の工場を一件一件飛び込みで営業をし、自社アピールと対話から抱えている悩みや問題点に対する提案を行うことによりお客様を増やすという使命が与えられた。訪問当初は飛び込みにていったい話を聞いてくれる方がいるのだろうかという疑問に感じていたの

だが、工場勤務の設備担当者の方は温かい対応で迎えて下さったことに非常に驚いた。忙しいだろう時間帯にアポイントをとらず訪問する私に時には時間をとって応接間に通して話をして頂けるときもあり、又時には帰り際玄関まで見送りまでして頂けるお客様も中にはいらっしゃり、とても丁寧な対応に心惹かれた。しばらくの訪問を重ねていくうち何社かのお客様からは仕事の引き合いを頂き、技術者同行のもと現場調査を行い見積もりの提出そして受注に結びつけることができた。初めてお客様自身の口から「それではこの工事城南さんをお願いします」と言われたときはその場でぐっと拳を握り締め、車に戻ってからガッツポーズをしてしまうほど嬉しかった。

市場開発の一員として動き始めてから半年が経過した頃、照明器具の移設を考えていたお客様から連絡があり現場調査を行うこととなった。その際、それまで何度か他の現場にて調査を行う技術者の様を見ていたので自分にもできるという気持ちから同行してもらうのをためらった。「お客様の要望を確実に聞き、現場を写真におさえ、必要な情報をつかめていれば大丈夫だろう」という安易な考えのまま事を進めてしまったのだ。

会社へ帰社後、チームリーダーへの報告の際工事内容と撮影してきた写真を見てもらい説明を行ったのだが、うまく伝えることができず自分が想像していた以上にその情報が乏しかったことに気がついた。そして再度現場を見に行かなければならなくなってしまったのだ。リーダー同行のもと現場へ向かう車中、「もう自分にはできるだろう」と過信していた考えがいかに甘く非力だったか痛感し情けなく涙が出そうになった。そのときリーダーは「このような結果が起きてしまったことは今となっては仕方のないこと。今は依頼が発生した際に技術者を同行しどのようなことをお客様と対話しているか、自分は工事内容について正確に理解できているだろうか。そういったことを考えながらひとつひとつ積み重ねていくことが大切なんだ」と声をかけてくれた。それからというものの工事引き合いを頂いては調査に至るまで技術者同行のもとお客様と対話する際、工事内容の把握と技術者とお客様の会話を一心不乱にメモにとり不明な点は後ほど質問し、勉強するように心がけている。これから先の目標としては技術力がある営業になれるようになることだ。

毎月訪問してるお客様は業種も違えば人柄もそれぞれだ。営業という役割が大変だと思うこともあるけれど、その分やりがいは大いにあることを毎日実感している。それは対話を通してお客様とより一層親密になり、ときに見られる笑顔に「よし！明日も頑張ろう」と元気をもらえるからだ。



# 建設業界に飛び込んで

モデン工業(株)

岡本 弘 樹



私が建設業界に飛び込んでまず思ったこと。いままで見たことの無かった現場の中の光景を見て、子供の様な好奇心が芽生えた感じがした。だって工事現場なんてめったに入る機会もないし、何より正直見たいともたいて思ってた。でもその中に行くと、建物がどういう風に建てられていくとか、どういうものを使っているのかとか、これまで見られなかった部分まで見られる。結構おもしろそうだったけど、その分覚えるのが難しそうだと感じた。というより、予想通りに大変だった。まあ簡単に出来るような仕事なんてそうそうあるものじゃないし、逆に簡単に出来るような仕事なんておもしろみがないような気がする。

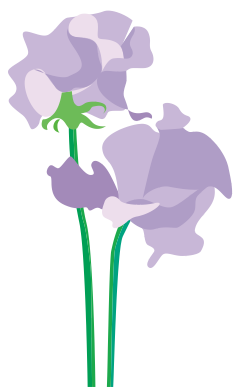
だから難しい方が楽しいと思うし、なんというかそう思いながらやっているとやりがいが出てくる。それに、この仕事を覚えて一人前にやれるようになったら、なかなかカッコいいんじゃないかとも思った。

そんな思いで実際現場に出てみて、とはいっても最初何やるのかも分からないので先輩の後ろで働き始めて、そこで感じたことは、「こんなことを全部一人で出来るのか?」と率直に思った。そこで見たものは、私たち現場監督同士が何回も何回も綿密に打合せをし、設計事務所とも打合せを重ね納得の行くまで話し合い、そしてそこで決まっていたことを職人に的確に伝えお客さんが満足するような施工管理する。それだけでも充分大変そうなのに、材料手配はもちろん書類の作

成や施工したものに対する検査やチェック、そして私たちも商売にとっては重要なお金の計算などなど、やることが多くてほんとに自分一人だけで出来るのかとても不安になった。でも「どんな仕事でもみんな最初は不安なはずだ。」そう言い聞かせて仕事にのぞむようにした。とは言ってもやはり覚えることが多くてとても大変だ。

私は電気工事の現場管理をしているのだが、電気設備といっても建物を造っていく際、建築のこともそれなりに知らなくてはいけない。ここがどういう風になってその照明器具はこういう風に収めなければとか、いろいろと絡むところがあるからだ。電気のことだけでもまだまだ知らなくて、覚えなければいけないところがたくさんあるのに、建築のことまでも知らなくてはいけないとなると、とてもじゃないけど頭がパンクしそうだ。でも先輩たちは、それをもの見事にやってくれる。自分も何年か経験を積んでやっていけばできるようになるのか、やはり不安なことが多いが、でもそれは自分の努力しただと思うし、覚えようと思ってやっている。一人前になって、この仕事で生活していこうと思ってやっているのだから多少の不安はあっても、やはりそれを打ち消すぐらい勉強して覚えていけばいいし、先輩たちからその技術を盗むのもいいだろうし、とにかく自分の努力次第で、大げさかもしれないがこれからの一生が決まっていくわけだから。だからこそ、今この時期にどんどん吸収していった一人前になれるようにがんばっていきたい。

これから建設業に入ってくる若者達には、やはり不安でいっぱいの人もいるだろうと思う。でも、そんな人たちには、不安でしょうがないのは自分だけじゃないと、むしろ初めての職場で不安にならない人なんていないから。前に耐震偽装問題なんてこともあったけど、そういうことをする人間はこの業界ではありえない事だから、もっともっと安心して働ける職場に、建設業というところで私たちと一緒に働いてみませんか？



# スタートライン

モデン工業(株)

江澤文樹



私は高等専門学校を修了し、建設業で働き始め2年目をむかえました。

入社したばかりの頃は、図面を書いたり事務所内の作業ばかり朝から夕方までパソコンと睨めっこ、そんな毎日でした。頭では図面を書くことは大事な仕事だと分かってはいるものの心のなかでは「図面を書いているだけでは楽しくない、早く先輩のように現場に出て仕事がしたい。」そんなことばかり思っていました。

入社して数ヶ月し現場に出してもらえるようになりました。現場に出れば学校で学んできたものを活かし少しでも仕事をこなせると思っていました。

しかし、現実はそんなに甘いものではありませんでした。いざ現場に入ってみると何をしたいのか分からず現場にいる時間の大半が先輩や職人さんの後についていき作業をただ見ているだけでした。自分が出来る作業といえば材料置き場の整理、ゴミの片付け、資材の運搬ぐらいでした。

この現場に来て、自分の仕事への考えの甘さを痛感し、それと同時に自分のような新人が「先輩や職人さんの役に立てる。」と思っていたことが、すごく恥ずかしくなりました。

このとき私は、「学校で学んできたから。」というちっぽけな自信は捨てよう、先輩や職人さんを「見て」、「聞いて」、現場で仕事をしていくため、そして、より

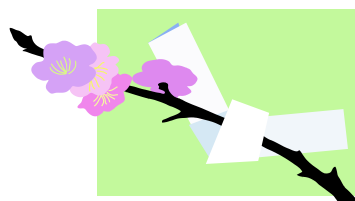
良い物を作るために必要なものを身に付けていこうと思いました。

この経験をしたことによって「自分で考え行動しよう。」という気持ち生まれ、今自分に何が出来るのか、何をすれば職人さんが仕事をしやすくなるのかを考えるようになりました、そんな時、ある職人さんからこんな事を言われました。それは、他の現場に手伝いに行ったとき、その現場で仕事をしている職人さんが「江澤、図面というのは、ただ見やすければ良いて物じゃ無い、見やすくするなら拡大する、展開をたくさん書く、そうすれば良い、でもそうすると図面の枚数が増えるだろ、現場にもって行くのに枚数が多いと邪魔になる、だから図面というのは、いかに見やすく、いかに枚数を減らして書けるかなんだ。」私はこの言葉を聞いたとき衝撃を受けました。今まで私は先輩に言われた通りに図面を書いていたただけでした、でもこの言葉を聞いてからは、ただ書くだけで無く、いかに見やすく、いかに枚数を減らすかを考え書くようになりました。

この職人さんの言葉、そして、現場に出てみて分かった仕事への考えの甘さ。

この経験をしたことによって、自分で考え行動することを知り、自分の中で仕事に関しての考え、取り組み方が大きく変わり、少しでも成長できたと思う。

これで、ようやく現場代理人になるためのスタートラインに立てた気がします。





## 県土整備部・建設産業団体連合会意見交換会

日時：平成19年10月12日（金）10時00分～

場所：オークラ千葉ホテル

千葉県県土整備部と千葉県建設産業団体連合会の主催による意見交換会が、10月12日（金）10時からオークラ千葉ホテルにおいて開催されました。

千葉県からは、古川県土整備部長をはじめ関係各課長など18名の方々が出席され、建産連からは郡司会長はじめ11団体の会長、事務局長など25名が出席しました。

会議に先立ち、建産連の郡司会長並びに古川県土整備部長からそれぞれ挨拶がありました。今回は、各団体から出された9項目の提案事項について、それぞれの団体から趣旨説明を行い、これに県側が応える形で進められました。

千葉県電業協会からは、提案1問について五十嵐理事から別紙のとおり趣旨説明を行い、これに対する県側担当者の回答要旨は以下のとおりです。

### 一般競争入札の応札条件について

#### （回答要旨）浮嶋建設・不動産課長

2点あると思います。今言われました今回拡大したことに伴い重要となる応札条件は、5千万円以上のものについて原則として総合評価を実施することになっている。その中で「地域貢献」という形の項目（フルイ）がある。逆に総合評価を適用しない5千万円以下の工事について、現在の対応は県内業者優先、防災協定に基づく地域貢献などを踏まえて指名業者選定時に考慮している。

金額によっては違うが地域要件などについては、できるだけ地域の皆さんを最優先でやっていきたいと考えている。

また、従前より県が発注した仕事に対しては、契約のしおりなどで県内業者への優先的な下請けをお願いしたいと、文書をもって各契約時をお願いしていることは事実である。これからも今言われましたそれにつきましては、前向きにやっていきたいと思っています。

## 県土整備部に対する提案・要望事項

団体名	(社)千葉県電業協会
提案事項	一般競争入札の応札条件について
提案要旨	<p>県においては一般競争入札の拡大を進め、かつ1件当たりの発注金額は5千万円以上とされ、段階的に低額化していく傾向であります。</p> <p>また、今後は一般競争入札を<u>2つの類型「事後審査型、総合評価型」</u>に分けて執行することと伺っております。</p> <p>現在、当協会会員の多くが中小零細企業であり、公共工事の発注がほとんど無い中、民間工事によりかろうじて生き残っている状況であり、協定に基づく災害時の協力においても大変厳しいものがあります。</p> <p>一般競争入札の拡大により、多くの非会員が入札参加することになりますと、適正な入札価格が破壊され、会員の受注機会も失われることが懸念されます。</p> <p>つきましては、<u>一般競争入札に対し</u>、応札条件として「県内に本店を置く業者及び県との災害防止協定締結業者であること。」を地域要件の設定として付加願いたい。</p>

## 総務・経営委員会

委員長

五十嵐 治美



委員会の再編成により旧総務と旧経営の業務を引き継ぎ「総務経営委員会」が発足しました。旧両委員会が培ってきた業務を損なわず、また継続してさらに発展し続けるにはどうするべきかを旨とし、また協会の経費節減の中での、協会運営のスリム化と会員サービスの向上を目指しました。

### ・「千電協だより」のホームページ掲載への移行

従来の冊子でお配りしていたものを、第52号より当協会ホームページに掲載し、どなたも気軽にアクセスできるようになりました。引き続き第53号も発行し、会員参加型の学級新聞を目指していければと考えております。委員の手作りですので、印刷費、発送費の節約にもなりました。なによりもカラー版なのがいいと思います。

今後さらに、「千電協会報」や協会のPR用パンフレットの製作を手がけていきます。

### ・男女共同参画の実現にむけて

労働人口が減る中で建設業は特に厳しい局面を迎えております。少子化や高齢化問題にとらわれず、女性を積極的に活用していく方向を模索しています。旧委員会から引き続き、セミナーの参加や千葉県男女共同参画推進会議にも出席しこの問題に取り組んでおります。

「ポジティブアクションの推奨」「ワーク・ライフ・バランスの取り組み方」など男女共同参画の実現に向けて、女性の地位の向上や活躍できる職場の環境整備

を行うことが必要です。ただ建設業界にはまだまだ難しい問題があります。委員会としてさらに勉強し、来期には皆様にもご報告したいと考えております。

・その他

今期は経営研修会の開催は見送りさせていただきました。魅力のあるテーマが見つからないとの理由からですが、会員の皆様からのご要望をお寄せください。

また年会費の徴収方法についてアンケートを実施し、口座自動振替への移行も検討しております。オーナー懇話会ではたくさんのご意見をお聞かせ下さりありがとうございました。



## 技術・渉外委員会

委員長

濱 名 敏 功



---

### 電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会

#### 1 級

開催日：5月18日(金)～20日(日)

場所：建設業センター(3階会議室)

受講者：18名

平成19年度の1級受験準備講習会を建設業センター(3階会議室)で開催いたしました。

1級の受講者数が昨年より増加して参加者のうち3名が非会員でした。

2級の受験準備講習会につきましては、応募者が7名のため費用対効果の面から検討し中止する事にし、受講希望者を電設協の講習受託団体である「地域開発研究所」に斡旋いたしました。

---

### 技術講習会

開催日：11月20日(火)

場所：オークラ千葉ホテル

講師：(財)省エネルギーセンター 診断指導部 技術専門職 三角治洋氏

受講者：77名

今回の講習会はスケジュールの関係で午後13時からの安全大会に引き続き14時45分より開催いたしました。

演題「省エネ提案のための省エネ法の基礎知識」という事で、「省エネ診断から考える省エネ提案のポイントと攻め方」をテーマに講演がおこなわれた。

近年関心の高まっている省エネの提案手法を活用して、我々電気工事業界にとって関連のあるビジネスチャンスになるよう期待いたします。

講習会の終了後、安全衛生委員会と合同で参加者対象に特別記念品の抽選会を行いました。

---

### 県出先機関への陳情状況

本年度より技術資材委員会と企業渉外委員会が統合して技術・渉外委員会としてスタートし、県出先機関 59 ヶ所、県内市町村を中心に当協会員の優先指名を目的とし人事異動時期の陳情を致しました。(陳情者 地区役員及び技術・渉外委員)

- 4月18日 (南総地区1) 安房地域整備センター他3ヶ所
- 4月20日 (葛南地区) 葛南地域整備センター他8ヶ所
- 4月24日 (東総地区) 印旛地域整備センター他9ヶ所
- 4月26日 (千葉地区) 千葉地域整備センター他11ヶ所
- 5月9日 (南総地区2) 山武地域整備センター他4ヶ所
- 5月11日 (南総地区1) 君津地域整備センター他2ヶ所
- 5月14日 (南総地区1) 木更津港湾事務所他4ヶ所
- 5月17日 (東葛地区) 東葛飾地域整備センター他8ヶ所

---

### 2007年電設工業展

開催日：5月23日(水)～25日(金)

会場：東京ビックサイト 西1・2ホール

テーマ：未来への架け橋を創る電設技術

2年ぶりに関東地区で電設工業展が開催され出展会社 227 社、会期中の入場者 98826 名で盛会裡に幕を閉じることができました。

今年は協会予算の関係で見学会は実施いたしませんでしたが、会員・関係機関への PR 告知をいたしました。

---

### 県立高校空調工事受注推進 PJ 会議

昨年、急遽発足いたしました県立高校空調工事受注推進 PJ につきましては、今年度 PTA からの直接受注は出来ませんでした。電気方式で東京電力グループが受注した高校 13 校について当協会員が下請け受注・完工することができました。

尚、各高校の完工に伴い協会として PJ 委員による完成検査を実施いたしました。来年以降につきましては、今年度の状況を踏まえて PTA からの直接受注は断念致しましたが今後、東京電力グループから要請がありましたら随時対応をしていき

たいと思います。

---

## 賛助会員と技術・渉外委員会との懇談会

---

開催日：11月30日(金)

場所：千葉市文化交流プラザ

参加者：9名

出席者自己紹介の後、今年度の事業報告に続き最近の業界の動向について情報交換をおこなった。

### (電設資材の動向について)

(1) 電設資材価格について、原材料が高騰しているが価格の改正については現在未定。

### (業界の動向について)

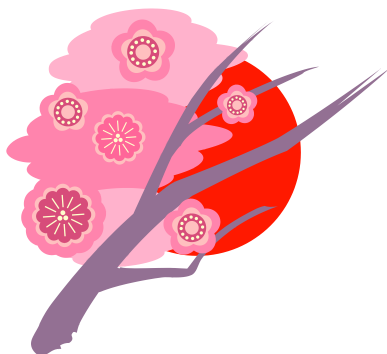
(1) 住宅着工統計の10月分が国交省から発表されたが、建築確認の遅れ等で4ヶ月間連続して前年比大幅に減少している。また今後建築基準法・建築士法等の改正もあるようだ。

### (新商品、新技術の紹介について)

(1) 松下電工(株)より、今後は環境問題が更に厳しく問われていくことになるので民間からの省エネやエコ対策が出てくるようになり、省エネ提案の仕事が増えたと想定されるので、秋葉原にある研修センターを是非ご利用して頂きたい旨紹介があった。

(2) 東京戸上電機販売(株)より、地中線用のUAS(高圧交流気中負荷開閉器)が新商品として発売された。従来はガス式が中心であったが、ガス抜けによる事故の発生もあり、ガスを使用しない環境にやさしい製品として売り出したい旨紹介があった。

以上、本年度の委員会活動は当初計画通りすべて終了いたしました。



## 防災・安全委員会

委員長

大嶋 敏 樹



今年度初め正式に防災・安全委員長に就任して以来、1年が経過しようとしています。

協会改革に伴い、委員会組織が統合されて初めての防災・安全委員会活動ということで、委員の選考作業からはじまり、年間事業計画・予算編成等慣れないことが多くかなり戸惑いもありましたが、事務局長、職員の方々にはお世話になりました。

また、一緒に活動していただいた副委員長はじめ委員の皆様、お疲れ様でした。この1年、幸にも大きな災害にも遭わず無事に過ごせたのも、日ごろから協会活動を支えている、会員の皆様のご協力と訓練の成果だと感じております。

次に、この1年間の主要事業の概要を報告させていただきますと、

- 3月末に、県水道局と災害復旧に関する協定を締結させていただきました。
- 4月から5月にかけては災害応急対策連絡網の再編整備として、「資機材、緊急車両等の再登録・確認」、「班割り編成、方面主任・班長の確定」、「担当路線、施設の張付け」、「管轄区域（路線）図の調整整備」、「連絡系統図の作成」などを実施し、同時に県出先機関への説明には、各理事、委員の方々のご協力を仰ぎ、また他の委員会委員の方々には、防災情報連絡員としてご協力をいただいたところです。
- 6月から7月にかけては水防災訓練に参加、8月末には、例年どおり県との震災訓練を実施しましたが、いくつか次回への反省点も見られました。
- また、9月初旬の台風9号の接近により真夜中、県からの要請で応急出動していただいた事例もあり、ご協力いただきました会員各位に改めて感謝を申し上



げる次第です。

- 今年も9月には、普通救命講習会を実施させていただきましたが、千葉市内のAED講習が多く、辛うじて佐倉消防署のご好意により行うことが出来ました。
- 10月は安全パトロールを県営繕課と(株)尾高電工のご協力で「県立千葉聾学校改築」の現場で行うことができ、関係者の皆様方にはお忙しい中時間を割いていただいたことに厚くお礼申し上げます。
- 11月は、協会として大きな行事の1つである「安全衛生大会」を実施しました。

千葉労働局の神田課長から「労働災害の防止について」の講演がありましたが、我々建設業に携わる者にとってセーフティな仕事は何よりも大事であることを再認識したところです。

何はともあれ、“油断大敵”の格言を肝に銘じ、また“備えあれば憂いなし”を基本に日々、活動訓練・情報収集を怠らず、協会理念である地域の守護人を自覚し、安全・安心を確保して活動していくことを次の事業計画と致しますので、引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

拙文であります但委員会活動報告と致します。



# ゴルフ同好会 & 新風塾OB会からのお知らせ



会員間の情報交換と親睦を目的に  
年2回のコンペを開催しています。  
会員の皆様！ 奮ってご参加下さい



千電協ゴルフ同好会  
会長 横川 祐喜

## 初めての合同コンペを開催！

平成19年10月31日

同好会 & 新風塾合同コンペ

場所：ヌーベルゴルフ倶楽部

### 同好会メンバー成績

順位	氏名	会社名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	中村和彦	㈱八光電気工業	81	9.6	71.4
2位	大野良郎	環境テクノス㈱	93	19.2	73.8
3位	増田 健	㈱増田電気工業所	87	13.2	73.8
4位	植草邦彦	共立電設㈱	91	15.6	75.4
5位	江口 司	アツサ電気工業㈱	102	26.4	75.6

### 新風塾メンバー成績

順位	氏名	会社名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	植草宏介	共立電設㈱	94	18	76
2位	大嶋良弘	新風塾 講師	104	26.4	77.6
3位	會田広之	会田電業㈱	98	19.2	78.8
4位	橋本 淳	㈱橋本電業社	97	16.8	80.2
5位	田中宏幸	モデン工業㈱	118	37.2	80.8

(注)ハンディ上限なし



## 新風塾OB会コンペ・年2回開催！

平成19年6月15日

場所：神崎カントリー倶楽部

順位	氏名	会社名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	橋本 淳	㈱橋本電業社	106	31.2	74.8
2位	中村広太郎	高率電設㈱	97	20.4	76.6
3位	斉藤 敦	アツサ電気工業㈱	103	26.4	76.6
4位	椎名教泰	北総電機産業㈱	89	12	77
5位	大嶋良弘	新風塾 講師	113	34.8	78.2

(注)ハンディ上限なし



新風塾OB以外の皆様も是非ご参加下さい

初心者大歓迎！和気藹々と楽しみながら仲間になり情報交換を！

ハンディキャップは上限なしです。優勝のチャンスは参加者全員にありますヨ！！



# 会員消息

## 表彰

おめでとうございます

(正会員)

(株)大英電業 平成 19 年 7 月 13 日 (成田市) 平成 18 年度建設工事表彰

(株)高岡電機店 平成 19 年 7 月 13 日 (成田市) 平成 18 年度建設工事表彰

共立電設(株) 平成 19 年 7 月 24 日 (船橋市) 平成 19 年度優良建設業者

下田光造(竹森建設(株)) 平成 19 年 7 月 24 日 (船橋市) 平成 19 年度優秀現場技術者

モテッ工業(株) 平成 19 年 11 月 8 日 (千葉県) 平成 19 年度建設雇用改善  
優良事業所

## 代表者変更

(正会員)

タテミチ電設(株)

平成 19 年 1 月 1 日

新 > 代表取締役 館道 和志 旧 > 館道 久雄

(株)栄電社

平成 18 年 6 月 8 日

新 > 代表取締役 片岡 眞一郎 旧 > 中川 誠

(有)大熊電気工事店

平成 19 年 2 月 4 日

新 > 代表取締役 大熊 隆男 旧 > 大熊 貞雄

(株)橋本電業社	平成 19 年 3 月 30 日		
	新 > 代表取締役	橋本 淳	旧 > 橋本 保伯
(株)森電気工業所	平成 19 年 4 月 1 日		
	新 > 代表取締役	森 明治	旧 > 森 清
(株)新都市サービスセンター	平成 19 年 6 月 1 日		
	新 > 代表取締役	石原 一征	旧 > 石原 宏子
(株)新千葉電設	平成 19 年 7 月 3 日		
	新 > 代表取締役	染谷 光孝	旧 > 染谷 芳雄
千葉電気工事(株)	平成 19 年 8 月 1 日		
	新 > 代表取締役	松下 宏哉	旧 > 喜多村 賢一郎
(資)砂原電気工業所	平成 19 年 7 月 6 日		
	新 > 代表社員	中野 淳	旧 > 砂原 虎雄
共立電設(株)	平成 19 年 12 月 21 日		
	新 > 代表取締役社長	植草 宏介	旧 > 植草 邦彦

## 役職者変更

(賛助会員)

ニッタン(株)	平成 19 年 4 月 1 日		
	新 > 千葉支店長	恒屋 隆之	旧 > 河合 広嗣

東芝電材マーケティング(株)首都圏電材社

	平成 19 年 10 月 1 日		
	新 > 千葉支店長	松尾 義隆	旧 > 伸野 修一

## 社名変更

(正会員)

(旧会社名)

京葉エフ・ディ・ケー(株)

(旧会社名)

富士電機水環境システムズ(株)

平成 19 年 1 月 1 日

(新会社名)

(株)エス・アイ・シー

平成 19 年 4 月 1 日

## 組織変更

(正会員)

(新)

(株)伊原電気商会

(旧)

(有)伊原電気商会

平成 18 年 6 月 8 日

## 住所等変更

(正会員)

伊藤電業(株)

平成 19 年 1 月 24 日

新 > 〒264 - 0035

千葉市若葉区東寺山町1075 - 3

TEL043 287 2711

FAX043 287 7879

旧 > 〒264 - 0031

千葉市若葉区愛生町14 - 8

関口電気(株)

平成 19 年 4 月 24 日

新 > 〒277 - 0862

柏市篠籠田485 - 2

TEL04 7141 8800

FAX04 7141 8801

旧 > 〒264 - 0031

柏市松葉町6 - 43 - 2

小峯電業(株)

平成 19 年 10 月 2 日

新 > 〒264 - 0036

千葉市若葉区殿台町127 - 1

TEL043 290 0038

FAX043 290 0039

旧 > 〒264 - 0024

千葉市若葉区高品町1030 - 3

## 訃報

(正会員)

(有)大熊電気工事店

代表取締役 大熊 貞雄

ご本人 大熊 貞雄 様

享年53歳

平成19年2月4日

(株)新千葉電設

代表取締役 染谷 芳雄

ご本人 染谷 芳雄 様

享年75歳

平成19年6月16日

(資)砂原電気工業所

代表社員 砂原 虎雄

ご本人 砂原 虎雄 様

享年84歳

平成19年7月9日

(有)島野電気

代表取締役 島野 章

実母 島野 フミ 様

享年96歳

平成19年10月24日

(株)小磯電気工業

代表取締役 黒木 道寛

実父 黒木 道教 様

享年91歳

平成19年10月11日

ご逝去を悼み、心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 退会

(正会員)

北園電業(株) 平成19年2月28日

(株)桜田電設 平成19年6月30日

(株)相互 平成19年3月31日

(株)三矢電設 平成19年9月10日

(株)比企電工 平成19年3月31日

(株)鈴木電設 平成19年12月31日



平成19年度 会 務 報 告

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
1/10	水	県挨拶(新年、総会招待)		県庁・企業庁	事務局長
16	火	県庁新年挨拶 常任理事会	1330	県庁 協会会議室	会長、會田・富田副会長、輪湖常任理事、事務局長 常任理事4名
17	水	佐藤のぶあき千葉県支部連合会設立総会	1500	オークラ千葉	会長、富田副会長、輪湖常任理事、事務局長
18	木	18年度決算監査 空調衛生工事業協会賀詞交換会	1100 1600	協会会議室 ミラマーレ	會田副会長、渋谷総務委員長、鈴木・御園生監事、事務局 会長
24	水	電設協経営企画委員会	1415	電設協	輪湖常任理事
29	月	社会保険調査	1030	社会保険事務所	土屋
30	火	千葉県電気協会理事会 千葉県電気協会新春講演会	1130 1330	三井ガーデントホテル千葉 三井ガーデントホテル千葉	会長 会長
2/1	木	空調部会 電設協 委員会	1000 1415	協会会議室 電設協	輪湖常任
8	木	男女協同参画会議	1415	教育会館	輪湖常任、荒井・長谷川委員、局長
14	水	理事会 第44回通常総会 懇親会	1330 1430 1600	オークラ千葉ホテル オークラ千葉ホテル オークラ千葉ホテル	理事10名 総会56名 懇親会会員59名賛助16名来賓40名 115名
20	火	県総会お礼 臨時常任理事会	1000 1215	県庁 協会会議室	会長、富田・輪湖・渋谷副会長、常務 会長、富田・輪湖・渋谷副会長
27	火	総務・経営委員会担当理事会義 水道局打合せ	1000 1300	協会会議室 幕張	輪湖副会長、五十嵐・黒木理事 常務
28	水	緊急公共工物品質確保対策等説明会 宮内三朗議員決起大会	1000 1830	さいたま新都心 旭市	富田副会長 会長
3/8	木	水道局打合せ	1000	幕張	渋谷・鈴木理事、常務
12	月	千葉県建設産業団体連合会正副会長会議	1100	センター5階	会長
13	火	常任理事会 理事会 歓送迎会	1330 1500 1630	協会会議室 " オークラ千葉H	常任理事4名 理事10名 役職員18名
15	木	建設雇用改善推進委員会 産業廃棄物電子マニフェスト説明会	1200 1315	オークラ千葉H 東京厚生年金会館	富田副会長、常務
16	金	防災・安全委員会	1330	協会会議室	委員長、副委員長、委員4名
20	火	県各届出		県庁	常務
22	木	空調部会打合せ 空調部会 空調PJ会議	1300 1400 1500	協会会議室 " "	富田副会長、濱名委員長、輪湖・富田委員 富田副会長、委員長、委員5名 富田副会長、濱名委員長、委員5名、他担当者4名
23	金	電設協 理事会	1030	Hランドハルス	会長

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
26	月	各種団体長懇談会(自民党)	1030	オーケラ千葉H	富田副会長
28	水	水道局 防災協定締結 建産連事務局局長会議	1100 1200	水道局 建設業協会会議室	会長、大嶋理事、常務 常務理事
30	金	宮内三朗出陣式	1000	旭市	会長・常務
4/ 3	火	県立高校空調説明会	1330	協会会議室	委員長、委員2名、担当者10名
9	月	陳情(印西市庁舎改修、平岡少年の家新築工事)	1000	印西市	富田副会長、常務 (空衛協)
10	火	県庁異動挨拶 常任理事会 積立金検討PJ	1000 1330 1500	県庁ビル 協会会議室 "	常任理事3名
11	水	技術・渉外委員会	1330	協会会議室	副会長、委員長、副委員長、委員6名
12	木	総務・経営委員会	1500	協会会議室	副会長、委員長、副委員長、委員6名
16	月	防災打合せ	1400	協会会議室	大嶋理事
18	水	異動挨拶(水道局) 県出先機関移動挨拶	930	幕張 南総1-1地区	常務 黒木理事、鎌田委員
19	木	電設協 人材育成基金WG	1400	電設協	輪湖副会長
20	金	異動挨拶(企業庁)		幕張	常務
25	水	県 1級講習会打合せ	1300	県庁	常務
26	木	県出先異動挨拶 (千葉地区) 電設協 経営企画委員会	900 1200	電設協	富田副会長、長谷部委員、常務 輪湖副会長
27	金	電設協 理事会	1330	Hランドパレス	会長
5/ 8	火	常任理事会 積立金検討PJ 宮内顧問懇親会	1500 1600 1800	協会会議室 " オーケラ千葉H	常任4名 " 常任3名、常務
9	水	防災総合連絡会議	1400	センター会議室	副委員長1名、防災・安全委員会9名、連絡員6名
11	金	三県連絡会議(神奈川県担当)	1500	Hキャメロットジャパソ(横浜)	常任4名、常務
14	月	災害応急対策打合せ	1300	水道局	常務
15	火	千葉県電気協会理事会	1130	三井ガーデンH千葉	会長
16	水	電設協 総会 電設協 懇親会	1530 1730	" "	会長 会長
18	金	1級施工管理技術者試験受験準備講習会 空調PJ部会打合せ	900 1000	センター会議室 協会会議室	委員長、受講生16名 委員4名
19	土	1級施工管理技術者試験受験準備講習会	900	センター会議室	受講生17名
20	日	1級施工管理技術者試験受験準備講習会	900	センター会議室	受講生16名



日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
21	月	空調工事中間・完成検査 建設業団体事務局長等連絡会議	900 1600	千葉西、鎌ヶ谷、柏陵、東葛飾 教育会館	植草委員、常務 土屋事務局長
22	火	空調工事中間・完成検査	900	佐原白揚、佐倉西、成東	富田委員、常務
23	水	空調工事中間・完成検査	830	君津、土気、検見川、磯辺	輪湖委員、常務
28	月	CCI協議会	1500	教育会館	会長
29	火	県打合せ	1300	県土整備部	常務
6/1	金	建産連正副会長会議 建産連理事会	1100 1200	建産連 建産連	会長 会長
6	水	空調PJ部会	930	協会会議室	富田副会長、委員長、委員5名
7	木	関東地方整備局入札契約に関する講習会	1300	渋谷フォーラム8	常務
8	金	香取地域整備センター水防訓練事前打合せ	1000	香取地域整備センター	横川方面主任、常務
12	火	常任理事会 理事会	1330 1500	協会会議室 協会会議室	常任理事4名 理事10名
13	水	空調工事打合せ	1300	協会会議室	濱名理事、富田委員、高岡電機店
14	木	災害応急業務配布及び挨拶 佐藤のぶあき第3回役員会 夷隅・安房方面 防災説明 山武・長生方面防災説明 千葉県電気協会 総会懇親会	1500 900	夷隅・安房方面 塚本大千葉ビル 3ヶ所 2ヶ所 鬼怒川	黒木方面主任、鎌田委員 常務 黒木方面主任、鎌田委員 土屋方面主任、橋本委員 富田副会長
15	金	建産連 総会懇親会	1600	オークラ千葉H	会長、常務
18	月	空調工事中間・完成検査 千葉銀行打合せ	900 1330	千葉女子、千葉南 協会会議室	濱名理事、常務
19	火	海匝地域整備センター水防訓練事前打合せ 東葛方面防災説明	1300	海匝地域整備センター 7ヶ所	横川方面主任、常務 渋谷方面主任、館道委員
20	水	新千葉電設告別式 千電協だより52号 HP掲載	1000	セレモ穴川ホール	常務
21	木	香取地域整備センター水防訓練	1400	佐原利根川河川敷	委員長、方面主任、香取班4名、常務
26	火	空調衛生工事業協会総会懇親会	1600	オークラ千葉H	会長、常務
27	水	関東地区協議会 海匝地域整備センター水防訓練 佐藤のぶあき後援会総決起大会 各団体決起大会(自民党)	1200 1330 1330 1600	東京電業会館 野手海岸 Hグリーンタワー千葉 オークラ千葉H	会長 委員長、方面主任、連絡員、海匝班3名、常務 富田副会長、土屋、会員
28	木	県打合せ 印旛方面 防災説明		県庁 2ヶ所	常務(ハトロ-ル他) 大嶋委員長、佐藤委員
29	金	印旛、香取・海匝方面防災説明 千葉市原方面防災説明		4ヶ所 3ヶ所	佐藤委員、田中連絡員 南山方面主任、西島羽委員、大浦連絡員
7/2	月	千葉方面防災説明		4ヶ所	鈴木理事

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
4	水	ホシティブアクション推進セミナー(総務・経営委員会) 総務・経営委員会	1330 1600	Hホートプラザちば 協会会議室	委員長、副委員長、委員5名 委員長、副委員長、委員5名
5	木	千葉方面防災説明		1ヶ所	鈴木理事
6	金	千葉地域整備センター水防打合せ、県庁	1000	千葉地域整備センター他	常務理事
9	月	電設協 経営企画委員会	1200	電設協	輪湖副会長
10	火	常任理事会、積立金PJ 東葛方面防災説明	1330	協会会議室 5ヶ所	常任理事4名 市東・椎名委員
11	水	(資)砂原電気工業所告別式参列	1030	香取市 法界寺	常務理事
13	金	君津方面防災説明		3ヶ所	濱名方面主任、岩田連絡員
18	水	電子納品講習会(建産連)	1000	教育会館	会員11名、常務
19	木	千葉地域整備センター水防訓練	900	都川遊水地	千葉方面6名、常務
23	月	男女協同参画 第1回合同部会 県打合せ(2級講習)	1330 1300	Hホートプラザちば 県庁	長谷川総務・経営委員 常務理事
24	火	防災・安全委員会	1500	協会会議室	委員長、副委員長、委員2名
26	木	公益法人制度改革セミナー	1530	幕張 富士通	土屋
30	月	新会計基準セミナー	1315	千葉文化センター	土屋
8/3	金	千葉県電気協会 電気安全講演会	1330	三井ガーデンホテル千葉	常務理事
8	水	県打合せ(安全パトロール)	900	県営繕課	常務理事
21	火	県打合せ(候補者、だより依頼)	1330	県土整備部	常務理事
30	木	上期監査	1100	協会会議室	副会長、委員長、監事3名、事務局
31	金	震災訓練	830	県内	本部・初動要員12名、各方面
9/4	火	入札制度・総合評価落札方式説明会	1330	オークラ千葉H	会員53名
11	火	常任理事会、積立金pj	1330	協会懷疑室	常任理事3名
19	水	電設協 理事会 電設協 経営企画委員会 産廃排出事業者説明会	1330 1500 1400	Hグランドパレス Hグランドパレス 北総教育事務所	会長 輪湖副会長
21	金	公共工事労務費調査に係る建設労働者の 賃金台帳推進に関する説明会 CCI推進連絡協議会事務局長連絡会議	1330 1330	Hホートプラザちば 県紛争審査室	会員8名 常務理事
25	火	現場代理人業務特別講習会 産廃排出事業者説明会	1330 1400	東京電業会館 長生合同庁舎	

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
26	水	普通救命講習会 産廃排出事業者説明会	900 1400	佐倉消防署 北総県民センター	委員長、委員1名、会員13名、常務
27	木	TCK全国会 公益法人セミナー	1430	ハルサル九段	常務理事
10/1	月	安全パトロール現地挨拶	1400	鎌取 千葉聾学校	大島委員長、常務
5	金	技術・渉外委員会	1500	協会会議室	委員長、副委員長、委員5名
9	火	常任理事会 理事会	1330 1500	協会会議室 協会会議室	常任理事3名 理事9名
10	水	防災・安全委員会	1500	協会会議室	委員長、副委員長、委員6名
11	木	電設協 会員大会	1500	松江	常任理事3名
12	金	県土整備部幹部との意見交換会	1000	オーケ千葉	五十嵐理事、常務理事
16	火	オーナー懇話会 東総地区	1600	佐倉市ホテルリッチタイム	会長・五十嵐理事・常務理事、地区会員12
17	水	建設雇用改善推進委員会、教育機関との情報交 建設人材確保・育成協議会、教育機関との情報交 オーナー懇話会 南総地区	1130 1300 1600	オーケ千葉 オーケ千葉 君津市ホテル千成	土屋 輪湖副会長 会長・五十嵐理事・常務理事、地区会員18名
18	木	オーナー懇話会 葛南地区	1600	船橋市三井ガーデンホテル	会長・五十嵐理事・常務理事、地区会員11名
19	金	オーナー懇話会 東葛地区	1600	柏市プラザハイアツ	会長・五十嵐理事・常務理事、地区会員7名
22	月	オーナー懇話会 千葉地区	1600	オーケ千葉	会長・五十嵐理事・常務理事、地区会員18名
24	水	安全パトロール	1300	千葉聾学校	防災・安全委員会8名、県3名、常務
25	木	県お礼(安全パトロール)		県庁	常務
29	月	千葉県男女協同参画連携会議	1330	県庁	長谷川総務・経営委員、常務
11/2	金	安全衛生大会講演依頼	1600	労働局、県	常務
7	水	三県連絡会議	1500	オーケ千葉ホテル	理事5名、神奈川・埼玉電業協会9名
8	木	雇用改善推進大会	1330	オーケ千葉ホテル	モデン工業、城南電設、常務、他2名
13	火	常任理事会	1330	協会会議室	常任理事3名
14	水	cciちば建設フェア	1300	教育会館	会長、常務、黒木理事
15	木	総合評価方式ガイドライン説明会	930	教育会館	会員22名
16	金	年末調整説明会 公益認定準備セミナー	900 1400	市民会館会館 勤労者福祉センター	土屋 土屋

日	曜日	内 容	時間	場 所	出席者
20	火	安全衛生大会・技術講習会	1300	オークラ千葉ホテル	会員72名
21	水	電設協 経営企画委員会 法人検査	1415 1330	電設協 協会会議室	輪湖副会長 県2名、会長、事務局
22	木	建設業団体長会議 労働局・県 安全大会お礼 防災・安全委員会 懇親会	1500 1400 1800	県庁 労働局他 市内	常務 常務 委員10名
29	木	生産性・労使関係シンポジウム	1330	県庁	総務・経営委員4名、常務
30	金	賛助会員との懇談会	1600	千葉市交流プラザ	委員会7名、賛助会員2名
12/ 5	水	関東地区協議会、整備局との懇談会 総務・経営委員会	1330 1500	プリンス武蔵野 協会会議室	会長 委員7名
11	火	常任理事会 理事会兼役員会 役員懇親会	1330 1500 1730	オークラ千葉ホテル " "	常任理事3名 顧問2名、理事9名、監事2名



役員

役職名	氏名	会社名
会長	並木 鷹男	城南電設企業(株) 代表取締役
副会長	富田 武	富田電機工業(株) "
"	輪湖 葆子	アツサ電気工業(株) "
理事	黒木 道寛	(株)小磯電気工業 "
"	五十嵐 治美	友信電気(株) "
"	濱名 敏功	ニチデン工業(株) "
"	大嶋 敏樹	(有)大嶋電機工業 "
"	神定 一雄	総武電気工業(株) "
"	鈴木 利雄	(株)鈴木電気 "
常務理事	山内 伊与治	(社)千葉県電業協会 事務局 長
監事	増田 健	(株)増田電気工業所 代表取締役
"	渡辺 勝	渡辺電機水道(株) "
"	御園生 隆	御園経営労務管理事務所 所 長

顧問

役職名	氏名	会社名
顧問	宮内 三朗	(社)千葉県電業協会 顧問
"	関 泰雄	元協会会長 (モデン工業(株)代表取締役)
"	喜多村賢一郎	前協会会長 (千葉電気工事(株)会長)

賛助会員役員

役職名	部門別	氏名	会社名
代表幹事	照明部門	西浜 勇次	松下電工(株) 千葉電材営業所 長
監事	盤 "	厩屋 伸之	千葉電機(株) 代表取締役
"	電材 "	松尾 義隆	東芝電材ア-行(株)首都圏電材社 千葉支店 長
"	弱電 "	宮川 忠士	宮川電気通信工業(株) 専務取締役
"	火報 "	恒屋 隆之	ニッタン(株) 千葉支店 長



# 編集後記



太陽とか、青い海とか、緑とか、.....

『人生80年時代』と言われる昨今、健康への関心は大変な高まりを見せています。メタボリックの一つでもあります中性脂肪は車の燃料ガソリンの高騰で歩け・歩けを励行して減少し始めましたし、朝夕の散歩でストレスも一掃しております。

各作業現場で身体を動かすばかりでなく、運動の原点でもあります「ウォーキング」を実践して自分の健康は自分で維持しましょう。

これから春先にかけて・・・いいえ、一年を通して房総半島は温泉があり、景色もよく、美味しく身体にも良い食材がそろっています。多いに休日休暇を利用、活用しエネルギーの素を沢山取り込みリフレッシュし、いつまでも健康で活躍を続けたいですね！



総務経営委員 長谷川 由喜枝